

WBO 女子世界ライトフライ級タイトルマッチ

天海ツナミ 地元凱旋

12月14日、内之浦銀河アリーナにてWBO女子世界ライトフライ級タイトルマッチが開催されました。鹿児島で女子の世界戦開催は初めてです。天海ツナミ選手は内之浦出身の現WBO女子世界ライトフライ級チャンピオン。地元での開催となった試合で、見事、王座防衛に成功しました。挑戦者はフィリピン出身で同級ランキング1位のジョゼベル・パガデュアン選手。試合前日の記者会見で天海選手は「サウスポー（左利き）の選手で、すばしっこそうだ。」と対戦相手の印象を語っていました。



相手の顔面にパンチがヒット！

試合が始まり、天海選手は序盤こそ相手の様子見をしていましたが、2ラウンド目からは積極的にパンチを繰り出します。パガデュアン選手は試合前半、挑戦者として攻めの姿勢を見せていましたが後半からは後退することが多く、天海選手が試合をリードしました。天海選手は堅実に攻撃を続け、8ラウンド目にTKO（テクニカル・ノックアウト）で撃退し、2度目の王座防衛に成功しました。



山下実行委員長（写真左）と町長（写真右）の3人で勝利を祝いました

試合終了後、天海選手に話を伺うと「地元開催ということもあって緊張したが、皆さんの声援のおかげで防衛することができ安心しています。」と笑顔で語ってくれました。



対戦相手のパガデュアン選手（写真左）とお互いの健闘を讃えあいました



試合終了直後、地元住民から祝福を受け笑顔を見せる天海選手



高校生ミュージカル「ヒメとヒコ」による応援も行われました